

薬剤師会実習生、星薬科大学 学部 5年 有馬 崇充

薬剤師会実習生、星薬科大学学部5年 有馬 崇充です。先日は、お忙しいところ1日間在宅医療の見学をさせて頂きありがとうございました。

近年では、頻繁に在宅医療の重要性が説かれていますが、どの在宅医療のお話も医師や看護師を中心とした話ばかりで、実際に薬剤師が在宅医療のどの部分で求められているのかずっと疑問でありました。しかし、今回、初めて医師、看護師、そして薬剤師の方々の訪問診療に同行させて頂き、薬剤師が在宅医療のどの面で活躍できるのかを自分の目で確かめることができました。薬剤師が活躍できる面としては、服薬状況の確認や残薬確認、バイタルサインの確認、患者さんとの信頼関係構築による悩みの相談などがありましたが、一番印象に残った面は、医師が患者さんの診察を終えその場で作成した処方箋をすみやかに監査することで、その処方箋をすぐにかかりつけ薬局に送り、少しでもはやく患者さんのもとに薬が届くようにされているという薬局との連携構築への関与でした。今まで、このような形での薬剤師の活躍は、考えたことがなかったため、大変驚きました。このように、薬剤師の活躍できる場がたくさんあるということを目で見て学ぶことができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。

今回の在宅医療見学より、様々なことを学ばせて頂き、在宅医療でも薬剤師が多いに活躍できるということ学ばせて頂きました。この在宅医療見学を糧に、将来的に求められている薬剤師に少しでも近づくことができるよう頑張ろうと感じました。

最後に、遠矢先生をはじめ、大須賀先生、石丸先生、貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。